

新潟県 公民館月報



(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

昭和42年5月号(通刊第171号)

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市学校町一・原字本館社会教育課分室内】
 【電話・(新潟)(23)5511 内線691】【振替新潟
 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄
 編集人 事務局長 本田 清

昭和42年5月15日発行(毎月1回15日発行)

【定価1部20円千共・年額240円】

か っ ち ゆ う

「兜は風の時代をくまぬけたこ
 ろの日本人の命がけのまを
 南蛮鉄と絹着と腰履をかためた
 兜の、深いひさしの奥から用心深
 くのぞく暗い眼高・胸元に迫る槍
 をかわす折り返しだが、もう鉢
 金の筋やひさしには金輪輪・半門
 の喉輪のほしにはハートのすかし
 がみえ、大阪後後の平和のまきし
 がみえている。ナギさうなベシミ
 面のヒゲの下でマフワン、開いた口
 もといは、五言の詠みひびくた
 る。」

(伊藤正一)

引毛 彌次 威 世 具 足 (江戸初期)

(新潟市西小針、伊藤氏次民蔵)

— 本紙撮影 —

昭和42年度県公連役員名簿

下越

郡市名	役名	評議員名	公民館名	役名	主事会幹事名	公民館名
北新中 新五白 西燕 東岩村 佐西新	理事 監事 理事 副理事 会長	田中実 宮村次 田村三 戸松秀 皆川信 荒海誠 北川郡 神保新 石部市 伊藤茂 平木正 守岡二 吉津津	豊浦村 新発田 横越市 新五白 巻津川 羽村和 津向新	常任幹事 幹事長 常任幹事	伊丹清太 栗橋野三 天野岡二 松岡友 石川一 吉遠好 小藤郎 佐藤男 板垣五 滝波善 斎本博 松志典 水志互	豊浦村 新発田 新五白 巻津川 燕鹿朝 村上野 畑津中 丙新

中越

南見三 加三長 栃北小 南中十 刈日柏	蒲附条 茂古岡 尾魚谷 魚町羽 崎	副会長 理事 監事 理事	小野正 佐野末 矢沢正 横山旭 高橋友 五十嵐恭 山内貞 関矢一 儀小喜 小田英 斎藤大 小内賢 小林昌	田見三 附条加 越岡長 栃立小 大中十 西柏崎	村中央 中市町 中央市 村中市 町村町 市町市 町市町 市教委	常任幹事 常任幹事	鶴岡卷 岡金子 西須藤 遠藤崎 石大崎 山本和 川島田 保坂形 波林田 小丸田	新一郎 恒誠直 正雅 國雅 美昭	田見三 附条加 寺泊長 栃立小 大川十 日町区 西山崎	村上北 谷津公 市中央 市市村 市町町 町市町 市町市

上越

中高直 新東西 糸魚	頸田津 井頸頸 川	理事 副理事 理事 監事	長尾義 飛田一 桜井午 金富邦 猪清 岩徳吉	正部長 一郎七 年彦次 邦治 清治 徳吉	三高直 新松青 糸	和田津 江井代 海魚	村市市 市町町 川	常任幹事 常任幹事	佐古藤 矢川端 越山山 関谷池 小津	治甫忠 甫義甫 幸健 悠一郎	大高直 新松名 糸	町谷津 金井代 立魚	町谷津 市町町 川

編集委員

- 欠端 甫夫 (直江津)
- 横山 旭三郎 (加茂)
- 石川 秀雄 (水原)
- 中野 滋 (県教委)
- 岩崎 健一 (高田)
- 徳間 助夫 (柏崎)
- 北川 郡司 (巻)

事務局長 木田 清
事務局員 笠原 れい

日本伝統 工芸秀作展

陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、ガラス工芸に分れ、重要無形文化財技術保持者(人)の作品とそれに準ずる工芸作家の秀作展

×××

開期 五月二十八日〜六月十一日

開催場所 B.S.新潟美術館

入場料 大人100円

出品作家 高川豊蔵、石黒宗廣他

